



2024年5月15日

各位

会社名 株式会社キムラタン
代表者名 代表取締役 清川 浩志
(コード番号 8107 東証スタンダード)
問合せ先 常務取締役 木村 裕輔
(電話 078-806-8234)

2024年3月期通期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社が、2023年5月12日に公表いたしました2024年3月期（2023年4月1日～2024年3月31日）の通期連結業績予想値と実績値との差異について、以下のとおりお知らせいたします。

1. 2024年3月期通期連結業績予想値と実績値との差異（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 1,300	百万円 90	百万円 30	百万円 20	円 銭 0.09
実績値（B）	1,284	37	△19	40	0.17
増減額（B－A）	△15	△52	△49	20	－
増減率（％）	△1.2	－	－	－	－
（ご参考）前期実績（2023年3月期）	3,547	△724	△1,037	△1,134	△6.25

2. 通期連結業績予想値と実績値との差異の理由

アパレル事業では上半期のマイナスをカバーするには至らず計画値を下回る推移となりましたが、不動産事業では稼働率の向上と2024年1月に株式取得を行った株式会社キムラタンプロパティ（旧有限会社月光園）の第4四半期売上の純増により、計画値を上回る結果となりました。その結果、売上高は前回予想を1.2%下回る12億84百万円となりました。

損益面では、主としてアパレル事業売上高の予想値との差異に加え、コスト上昇による粗利益率の低下により、営業利益は前回予想値を52百万円下回ることとなり、経常利益は支払利息その他の費用をカバーできず19百万円の損失となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益については、固定資産売却益、中国子会社の清算に伴う為替換算調整勘定の取崩益（関係会社清算益）に加えて、前掲の株式会社キムラタンプロパティの株式取得に伴う負ののれん発生益を特別利益に計上したこと等により、前回予想を20百万円上回る結果となりました。

以上